


■取組みの狙い・きっかけ

【案件】 出版物（書籍・雑誌）の幹線貸切輸送

- ・ 関東（東京）の印刷工場で製造された出版物（書籍・雑誌）を毎日積載し、奈良県及び和歌山県の出版物のルート配送拠点へ貸切車両で幹線輸送する運行便

【狙い】 2024年の拘束時間の短縮化への対応

- ・ 拘束時間が「293時間以内／月」から「284時間以内／月」へと短くなることから配車計画の変更を迫られた
 - ⇒ 休息時間が「継続8時間以上」から「継続11時間を基本とし、9時間を下回らない」に変更となることに伴い、折返し運行の間のインターバル時間を確保できるように、運行時間の短縮化が必要
- 
- ・ お客様が出勤されるまで待つのではなく、**当社の乗務員が、お客様倉庫の鍵をお預かりしてお客様の出勤前に荷卸しを行う（成り代わり支援）**ことで、拘束時間を短縮することを計画
 - ⇒ お客様のご協力も必要であり、**単なる適正運賃収受ではなく「+αの価値」を提供**することを前提として協議